

令和6年度 後志管内教育推進の重点

子ども一人一人の幸せの実現を目指す後志教育の推進

～Shi信頼を基盤に Ri理念を共有 Beベクトルを合わせて Shi質の向上～

1 子ども一人一人の可能性を引き出す教育の推進

子どもを主語にした授業の推進

子ども一人一人の学力、体力・運動能力等の向上のため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、後志管内の全ての子どもが「この学校で学ぶことができている」と実感できる取組の推進

< 推進の視点 >

- ・クラウドを活用した教育活動の推進
- ・教育的ニーズに的確に応える指導の充実

○（各学校の推進の視点）

2 学びの機会を保障し質を高める環境の確立

子どもが安心して学ぶことができる環境の確立

子ども一人一人のよさや可能性を最大限伸ばすため、よりよい人間関係の構築に関する取組と誰一人取り残さない多様な学びの機会の充実を図り、後志管内の全ての子どもが「自分が活躍できる場所がある」と実感できる取組の推進

< 推進の視点 >

- ・いじめ見逃しゼロ
- ・学びにアクセスできない子どもゼロ

○（各学校の推進の視点）

教員の資質能力の向上

子ども一人一人に対して効果的な教育活動を推進するため、教員一人一人が、ワークライフバランスの視点をもちながら、自らの授業を磨き、人間性や創造性を高める取組の推進

< 推進の視点 >

- ・学校DXの推進
- ・教員研修の充実

○（各学校の推進の視点）

3 地域と歩む持続可能な教育の実現

学校・家庭・地域の連携体制の充実

子ども一人一人が地域へ愛着・誇りをもつことができるよう、学校、家庭、地域全体が一層連携し、子どもたちと様々な場面で関わることで子どもたちが地域について主体的に考え、後志管内の全ての子どもが「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思える取組の推進

< 推進の視点 >

- ・コミュニティ・スクールの取組の充実
- ・学校間連携の推進

○（各学校の推進の視点）